

平成二十年十二月八日提出
質問第三二四号

エチオピアで発生した邦人誘拐事件への政府の対応並びに説明に関する再質問主意書

提出者 鈴木宗男

エチオピアで発生した邦人誘拐事件への政府の対応並びに説明に関する再質問主意書

「前回答弁書」（内閣衆質一七〇第二七六号）を踏まえ、再質問する。

- 一 本年九月二十二日に発生した、エチオピア東部で、赤羽桂子さんを含む国際医療支援団体「世界の医療団」のスタッフ二人が誘拐される事件（以下、「誘拐事件」という。）への政府における対応のあり方等につき、これまでの答弁書で政府は一切の説明を拒否している。それに加え、「前回答弁書」で政府は、誘拐された赤羽さんの身柄の安否並びに健康状態に係る情報についても明らかにすることを拒んでいるが、その理由を明らかにされたい。

- 二 「誘拐事件」解決に向けた政府の取組を公表することで、「世界の医療団」はじめ関係機関による被害者の解放に向けた取組等に支障を及ぼすとする政府の見解は十分に理解できるが、「誘拐事件」は、発生していることが既に知られている今、こと邦人の生命に関わる情報を政府が公表できないとするのは、理屈として通らないと考える。「誘拐事件」発生から既に二カ月が経過した今、赤羽さんの身柄の安否並びに健康状態はどのような状態にあるのか、政府として把握している情報を明らかにされたい。

右質問する。